



自衛隊栃木地方協力本部

小江戸とちぎ祭り

とちぎ大会・みんなで結くべ！BOUSA I ベースで広報展



軽装甲機動車で記念撮影をする来場者

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原2陸尉）は7月6日（土）、栃木市蔵の街大通り及びとちぎ山車会館前広場において開催された『小江戸とちぎ祭り』に参加し広報展を実施した。

本イベントは、広域なネットワークの構築・活用と社会貢献、持続可能な共存共栄社会への貢献を位置づけに、「自助」「共助」「公助」の三本を軸に市民に災害対策の重要性を伝え、災害発生時の効果的な対応と共存共栄の防災ネットワークの構築を目指し開催された。

当日は晴天に恵まれ30℃を超える真夏日の中、自衛隊広報ブースに多くの来場者が訪れた。広報ブースでは中央即応連隊（宇都宮駐屯地）の支援を受け軽装甲機動車及び輸送防護車の車両展示を行うと共に、災害派遣での活動写真展示及び制服試着などを行い地域住民に自衛隊の存在をアピールした。これらの展示品に直接触れた来場者は、「自衛隊の車はとても大きくてかっこいいですね。初めて見ました」と話すなど、好評であった。

小山地域事務所は、「今後も、自治体との連携を継続していくとともに広報イベントを通じて地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動し、自衛隊への理解促進を図っていく」としている。



制服試着を楽しむ来場者

栃木県の皆様へ自衛隊の魅力を！ ～大型商業施設で広報展を実施～



野外炊具 1号の展示の様子



制服試着の様子

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 櫻井1陸尉）は7月7日（日）、イオンモール佐野新都市にて広報展を実施した。

当日は、梅雨入り後にも関わらず晴天に恵まれ、暑さを感じられる気候となった。屋外駐車場では東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、野外炊具1号や宿営用天幕を展示し、屋内においては制服試着等を実施した。特に野外炊具1号に興味を示す来場者が多く、「これはどのような場所で使用されるんですか？」「初めて本物を見ました！」と質疑応答や喜びの声で賑わいをみせていた。制服試着では「将来は自衛官になりたい！」と制服を着てはしゃぐ子供たちの姿も見られた。

足利地域事務所は「今後も、地域と連携し市民の皆様へ自衛隊の魅力を発信していく」としている。